

東

2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月15日

上 場 会 社 名 株式会社ウエストホールディングス 上場取引所

コード番号 1407 URL http://www.west-gr.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江頭 栄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 勝又 伸生 (TEL) 03-5358-5757

四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	l益	経常利	益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	38, 260	△4. 7	5, 015	26. 0	4, 596	30. 2	2, 919	25. 6
2020年8月期第3四半期	40, 146	△8.0	3, 978	30.0	3, 530	29. 1	2, 324	30. 2

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 2,894百万円(24.8%) 2020年8月期第3四半期 2,319百万円(34.2%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
0004 5 0 5 45 55 0 5 14 45	円 銭	円銭
2021年8月期第3四半期	/1. //	_
2020年8月期第3四半期	56. 50	_

- (注)1.当社は、2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の株式分割を行い、2021年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。
 - 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	84, 054	21, 789	25. 9
2020年8月期	82, 299	20, 359	24. 7

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 21,773百万円 2020年8月期 20,343百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2020年8月期	_	0.00	_	45. 00	45. 00			
2021年8月期	_	0.00	_					
2021年8月期(予想)				50.00	50.00			

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 - 2. 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合をもって株式分割を行っております。2020年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載し、2021年8月期(予想)については、当該株式分割後の配当金の金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2021年8月期(予想)の年間配当金合計は65円となり、実質15円の増配となります。
- 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
\ 	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	68, 000	9.8	10, 000	39. 3	9, 500	43. 6	6, 000	35. 8	147. 48

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 - 2. 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期3Q	46, 027, 488株	2020年8月期	46, 027, 488株
2021年8月期3Q	5, 360, 421株	2020年8月期	5, 342, 900株
2021年8月期3Q	40, 678, 981株	2020年8月期3Q	41, 141, 445株

当社は、2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の株式分割を行い、2021年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業 績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあた っての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(ヤグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、昨年来の新型コロナウイルス感染症流行が終息を迎えるに至らず、経済活動への制約も解消される状態になく、景気は依然として先行き不透明な厳しい状況が続いております。

一方で世界のエネルギー市場においては、2015年の「パリ協定」採択を契機とした環境意識の高まりがより一層加速しております。機関投資家は欧米のみならず我が国においても「ESG投資」に多額の資金を振り向け始め、企業側にとっては「SDGs」への取り組みの重要性がますます高まっております。その中でも自社消費電力の再生可能エネルギー調達へのシフトはRE100参加企業等の一部の大企業のみならず、サプライチェーンに関連する多くの企業にとっても重要課題と位置付けられつつあり、我が国政権の掲げる「2050年カーボンニュートラル宣言」と「グリーン成長戦略」はグリーン電力需要の大幅な増加に繋がりつつあります。

当社グループにおきましては、ウエスト電力において、コロナ禍に伴う法人顧客の電力消費量の大幅な減少による売上高減少といった影響はありますが、太陽光発電設備を中心とした営業、施工面においては、引き続き最も危惧された工期の遅延等も発生することなく、大きな影響はありませんでした。

社内におきましては在宅勤務の推奨や全従業員へのマスク、消毒用スプレーの配布、出張時のPCR検査の義務付け等の 安全対策を継続し、従業員をはじめそのご家族、お取引先すべてにご迷惑をかけることのないよう感染防止対策を徹底 しております。引き続き従業員の安全確保と施工の着実な実施を行えるよう注意して取り組んでまいります。

このような状況の中、当社グループは地域の金融機関とのアライアンスを強化し、地元企業や地方自治体向けに従来から行っている太陽光発電システムの材料調達・施工・販売・0&M(オペレーションアンドメンテナンス)の創工ネ事業を推進する中で、LED照明や空調設備による省エネ事業、電力小売事業などトータルエネルギーソリューションの展開を進めつつ、FIT後の再生可能エネルギー市場に向けた、メガソーラー再生事業、グリーン電力事業等の新規事業に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高38,260百万円(前年同四半期比4.7%減)、営業利益5,015百万円(前年同四半期比26.0%増)、経常利益4,596百万円(前年同四半期比30.2%増)及び親会社株主に帰属する四半期純利益2,919百万円(前年同四半期比25.6%増)を計上いたしました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の 金額であります。

① 再生可能エネルギー事業

メガソーラー事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もなく計画に沿った施工・販売が順調に推移いたしました。また、今後の中心事業となるメガソーラー再生事業を本格展開し、稼働中のメガソーラーの仕入、バリューアップ、販売を実施いたしました。特に当第2四半期連結累計期間では収益性の高い複数の物件の売却が実現し、利益を押し上げました。産業用太陽光発電事業におきましては、環境意識の大幅な高まりを背景に自家消費型の受注が一層増加いたしました。総発電コストの削減に関しては、住宅用からメガソーラーに至るまで、世界全域から品質を維持した商材の調達と数多くの設置実績の経験値を活かした継続的なコスト低減を図ってまいりました。また、FIT制度に依存しないビジネスモデルとして、自家消費型モデルの普及に加え、当社グループが太陽光発電による電力の買取を行う新しい仕組み(ウエストFIT)を活用したグリーン電力事業対応型モデルの展開をすすめました。

以上の結果、売上高14,436百万円(前年同四半期比3.5%減)、営業利益1,973百万円(前年同四半期比27.5%増)となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのアライアンスによる情報を活用し、商業施設や工場・病院などのエネルギーを大量に消費する施設に対し省エネのトータルサービスを提供、特にお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。このウエストエスコ事業については、施工実績が増加することにより、LED照明は5年から7年、空調設備は10年から12年にわたり、将来の安定収入に繋がる事業であり、着実な施工実績の積み上げにより売上高及び営業利益は増加しております。また、自治体向けに蓄電池付き太陽光発電所を設置し、発電した電力を自家消費用に販売する新規事業(PPA事業)を開始いたしました。

以上の結果、売上高1,637百万円(前年同四半期比15.4%増)、営業利益507百万円(前年同四半期比29.8%増)となりました。

③ 電力事業

電力小売事業は、トータルエネルギーソリューション展開の一環として、太陽光発電システムや省エネ機器更新との複合提案活動を行っております。電源調達につきましては、電力会社や大手商社からの相対取引契約を締結し、前年度第3四半期において仕入先の見直しを行い、収益率の改善を図りました。新規受注活動においては、旧一般電気事業者や競合先との競争が激化している状況下においても新規提携金融機関の増加を背景に、販売先数は前事業年度末20,149件より当第3四半期末30,172件と、順調に拡大しております。一方で、電力販売量は新型コロナウイルス感染症に伴う生産設備の稼働低下、飲食業の営業時間短縮等の影響により前年対比で減少いたしました。自社売電事業については、約65MWの既存発電所の保有に加え、2022年8月完成予定の自社保有用大型メガソーラー(60MW・FIT単価36円)の建設も順調に進行しており、将来の安定収入として売上高及び利益の確保が見込まれます。

以上の結果、売上高21,281百万円(前年同四半期比7.1%減)、営業利益1,482百万円(前年同四半期比20.7%増)となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラーを中心に、安定した売電収入を得られることを目的として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。契約総件数は1,248件(2021年5月末)と着実に増加しております。また、メガソーラー再生事業開始に伴い、購入したメガソーラーのメンテナンスを随時当社グループに切り替えて販売するシナジー効果が出ております。一方グループ内組織改正による人件費増により販売管理費は増加いたしました。

以上の結果、売上高は1,122百万円(前年同四半期比12.9%増)、営業利益276百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

⑤ その他

その他の売上高は1百万円(前年同四半期比961.3%増)、営業利益1百万円(前年同四半期比961.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,749百万円増加し、84,049百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比323百万円増加し、62,264百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比1,430百万円増加し21,789百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の増加の主な要因は、商品が3,332百万円及び未成工事支出金が7,328百万円それぞれ増加した一方、現金及び 預金が8,966百万円減少したことによるものであります。

負債の増加の主な要因は、借入金及び社債が1,425百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が784百万円減少したことによるものであります。

純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,919百万円を計上した一方、配当金の支払1,408百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の連結業績予想につきましては、2020年10月15日付「2020年8月期 決算短信」において公表いたしました2021年8月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年7月15日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,000	22, 034
受取手形及び売掛金	7, 017	6, 034
リース債権	4, 278	4, 523
完成工事未収入金	4, 493	2, 841
商品	4, 946	8, 279
販売用不動産	2, 785	3, 126
未成工事支出金	11, 142	18, 471
原材料及び貯蔵品	26	10
その他	1, 951	4, 779
貸倒引当金	△198	△240
流動資産合計	67, 446	69, 863
固定資産		
有形固定資產		
機械装置及び運搬具(純額)	8, 675	8, 190
その他(純額)	3, 639	3, 510
有形固定資産合計	12, 315	11, 701
無形固定資産	234	314
投資その他の資産		
投資有価証券	467	319
長期貸付金	110	114
繰延税金資産	504	500
その他	1, 319	1, 346
貸倒引当金	△98	△105
投資その他の資産合計	2, 303	2, 174
固定資産合計	14, 853	14, 191
資産合計	82, 299	84, 054

(単位:百万円)

		<u> </u>
	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3, 818	3, 034
工事未払金	1, 444	1, 318
1年内償還予定の社債	140	240
短期借入金	14, 775	23, 061
未払法人税等	718	379
完成工事補償引当金	441	333
その他	5, 772	6, 047
流動負債合計	27, 112	34, 414
固定負債		
社債	190	470
長期借入金	33, 531	26, 291
資産除去債務	553	562
繰延税金負債	178	178
その他	374	346
固定負債合計	34, 828	27, 849
負債合計	61, 940	62, 264
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 020	2, 020
資本剰余金	728	728
利益剰余金	20, 737	22, 248
自己株式	△3, 121	△3, 176
株主資本合計	20, 365	21, 821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△44	△44
繰延ヘッジ損益	19	_
為替換算調整勘定		△3
その他の包括利益累計額合計	△22	△47
非支配株主持分	15	15
純資産合計	20, 359	21, 789
負債純資産合計	82, 299	84, 054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	40, 146	38, 260
売上原価	31, 666	28, 815
売上総利益	8, 480	9, 445
販売費及び一般管理費	4, 501	4, 430
営業利益	3, 978	5, 015
営業外収益		
受取利息	8	4
受取配当金	6	4
補助金収入	-	19
その他	16	18
営業外収益合計	31	47
営業外費用		
支払利息	351	313
支払手数料	122	138
その他	5	13
営業外費用合計	479	465
経常利益	3, 530	4, 596
特別損失		
投資有価証券評価損	-	119
関係会社株式評価損		29
特別損失合計	<u> </u>	149
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	3, 530	4, 447
匿名組合損益分配額	57	26
税金等調整前四半期純利益	3, 472	4, 421
法人税等	1, 148	1, 501
四半期純利益	2, 324	2, 919
非支配株主に帰属する四半期純利益	<u> </u>	=
親会社株主に帰属する四半期純利益	2, 324	2, 919

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)_
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	2, 324	2, 919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	$\triangle 0$
繰延ヘッジ損益	2	△19
為替換算調整勘定	0	$\triangle 5$
その他の包括利益合計	$\triangle 4$	△25
四半期包括利益	2, 319	2, 894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2, 319	2, 894
非支配株主に係る四半期包括利益	_	_

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。 (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月28日 定時株主総会	普通株式	1, 100	45.00	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金

- (注) 2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。
 - 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年1月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法 第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式486,300株を取得いたしました。この結果、 当第3四半期連結累計期間において、自己株式が567百万円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	類 配当金の総額 1株当たり 基 (百万円) 配当額(円) 基		基準日	効力発生日	配当の原資
2020年11月25日 定時株主総会	普通株式	1, 408	45.00	2020年8月31日	2020年11月26日	利益剰余金

- (注) 2021年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。
 - 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適 用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他		調整額	四半期連結 損益計算書	
	再生可能 エネルギ ー事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	1111	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高									
外部顧客への売上高	14, 957	1, 418	22, 917	852	40, 146	0	40, 146	_	40, 146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	_	0	141	147	_	147	△147	_
111 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14, 961	1, 418	22, 918	994	40, 293	0	40, 293	△147	40, 146
セグメント利益	1, 548	390	1, 228	335	3, 503	0	3, 503	475	3, 978

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額475百万円には、固定資産の未実現利益消去93百万円、本社費用の配賦差額381百万円が含まれております。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 4. 所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしましたが、この変更に伴うセグメント利益に与える影響はありません。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	再生可能エネルギ	省エネル	キセグメン 電力事業	メンテナ	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高	一事業	ギー事業		ンス事業					(注) 3
外部顧客への売上高	14, 427	1,637	21, 280	914	38, 259	1	38, 260	_	38, 260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	_	1	208	218	_	218	△218	_
計	14, 436	1,637	21, 281	1, 122	38, 477	1	38, 479	△218	38, 260
セグメント利益	1, 973	507	1, 482	276	4, 239	1	4, 241	773	5, 015

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額773百万円には、固定資産の未実現利益消去85百万円、本社費用の配賦差額688百万円が含まれております。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。